

# 町田市スポーツ推進計画アクションプラン 事業実施状況(2016年度)

※実施状況の実績は、2017年3月見込みの状況

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (1) 子どものスポーツ推進

番号	1-1		実施主体	子育て支援課子育て推進課 スポーツ振興課	
推進施策	幼児期における積極的な身体活動の推進				
事業名	幼児期の運動遊び啓発事業				
取り組み内容	講座や刊行物の発行等、保護者に対する運動の重要性や取り組み方法の啓発について検討、実施する。				
事業目標	指標	啓発活動の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	実施				
実施状況	実施	実施	実施		
2016年度の具体的な取り組み内容	各種お便りの発行や掲示物を通して、保護者に運動目標や活動の様子を周知し、運動の重要性を伝えた。				

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (1) 子どものスポーツ推進

番号	1-2		実施主体	指定管理者	
推進施策	幼児期における積極的な身体活動の推進				
事業名	指定管理者による幼児スポーツ教室事業				
取り組み内容	幼児を対象とした教室を開催し、教室参加者を増やす。 ・総合体育館：ちびっ子体操教室(4歳児対象)、わんぱく体操教室(5～6歳児対象) ・サン町田旭体育館：ちびっ子体操教室(4歳児対象)、わんぱく体操教室(5～6歳児対象) ・室内プール：幼児スクール※自主事業 ・成瀬クリーンセンターテニスコート：キンダークラス(4～6歳児対象)※自主事業 等				
事業目標	指標	教室参加者数	計画初期値	4,670名	
			目標水準	5,170名	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	4,770名	4,870名	4,970名	5,070名	5,170名
実施状況	4,348名	6,026名	7,616名		
2016年度の具体的な取り組み内容	○総合体育館 4歳から就学前の幼児を対象とした体操教室を定期的に実施した。(延参加者数2,555名) ○室内プール 幼児スクールを、定期的に実施した。(延参加者数3,313名) ○成瀬クリーンセンターテニスコート ・4歳から小学校入学前の児童を対象としたキンダークラスを実施した。(延参加者数163名) ・4～6歳児を対象とした夏休み早朝ジュニアレッスンを実施した。(参加者数16名) ○サン町田旭体育館 4歳から就学前の幼児を対象とした体操教室を3期にわたり実施した。(延参加者数1,569名) ○小野路公園・鶴川中央公園 子ども(幼児を含む)を対象とした事業への会議室の提供や球場の開放を行った。				

施策1：地域におけるスポーツ推進

(1) 子どものスポーツ推進

番号	1-3		実施主体	子育て支援課 子育て推進課	
推進施策	幼児期における積極的な身体活動の推進				
事業名	乳幼児及び子育て家庭への身体づくりの推進				
取り組み内容	A: 乳幼児及び保護者を対象に、ボランティアや大学生、ホームタウンチームによる身体活動の指導や交流を行う。 B: 市立保育園の保育士を対象に、身体づくり・体育遊びに関する研修を行う。				
事業目標	指標	啓発活動の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	計画作成	A: 年5回 B: 年5回	A: 年5回 B: 年5回	A: 年10回 B: 年10回	A: 年10回 B: 年10回
実施状況	A: 年38回 B: 年5回	A: 年22回 B: 年5回	A: 年9回 B: 年5回		
2016年度の具体的な取り組み内容	<p>A: ホームタウンチームのFC町田ゼルビアによるサッカー教室やフットサル教室を実施し、指導者との交流や体力づくり、身体を動かす楽しさを味わった。</p> <p>B: 運動あそびのDVDを視聴、運動やそれに伴う事故対策に関する研修に職員が参加した。</p>				

施策1：地域におけるスポーツ推進

(1) 子どものスポーツ推進

番号	1-4		実施主体	児童青少年課	
推進施策	幼児期における積極的な身体活動の推進				
事業名	幼児・親子向けプログラム(フィットネス、レクリエーション)				
取り組み内容	当事業は、利便性が高く、日ごろから多くの子どもや親子の利用がある子どもセンターにて実施する。 市内の子どもセンターで、幼児とその保護者を対象とした身体を動かすプログラム(フィットネス、レクリエーション)を定期的 to 実施する。				
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	実施	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	実施				
実施状況	実施	実施	実施		
2016年度の具体的な取り組み内容	<p>各子どもセンターで、乳幼児親子を対象としたの事業を定期的 to 実施した。</p> <p>&lt;子どもセンターばあん&gt; キッズアタック(年間35回)、キッズアタックIN成瀬(年間6回)、ヤンチャッチャ(年間35回)</p> <p>&lt;子どもセンターつるっこ&gt; ぽっぷんたいむ(年間45回)、ぽっぷんたいむin三輪(年間10回)、どぎまぎチャレンジ(年間10回)、産後ヨガ・キッズヨガ(年間1回)</p> <p>&lt;子どもセンターぱお&gt; ぱわぱふたいむ(年間32回)、ぱわぱふたいむIN小山(年間11回)、パパとあそぼう!(年間1回)</p> <p>&lt;子どもセンターただON&gt; あそぼON(年間37回)、産後ヨガ(年間1回)、親子ヨガ(年間1回)・パパとあそぼう(年間1回)</p> <p>&lt;子どもセンターまあち&gt; ・まちびよんキッズ(年間31回)、Let'sエクササイズ(年間3回)</p>				

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (1) 子どものスポーツ推進

番号	1-5		実施主体	児童青少年課	
推進施策	子ども居場所づくりと連携した身体活動の推進				
事業名	スポーツを通じた世代間交流事業				
取り組み内容	当事業は、小学生から高校生までが集える「子どもセンター」及び小学生の放課後の遊び場見守り事業「まちとも」の活動場所にて実施する。 ・高校生が、小・中学生にスポーツの指導をする機会を設ける。 ・地域スポーツクラブによるスポーツ教室と連携し、小・中学生がスポーツを体験する機会を設ける。				
事業目標	指標	事業の実施		計画初期値	—
				目標水準	実施
実施計画		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
	企画		実施		
実施状況		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
	企画		企画実施	実施	
2016年度の具体的な取り組み内容	各子どもセンターやまちともにて、高校生や地域スポーツクラブをはじめとした地域の方が参加し、世代間で交流できるスポーツ事業を実施した。 <子どもセンターばあん>ドッジボール大会、バスケットボール大会 <子どもセンターつるっこ>ドッジボールであ〜そぼっ！ <子どもセンターぱお> ぱおサル、ぱおバス、相原スポーツFUNDAY協力(相原ファミリースポーツ普及委員会と連携)、出前ドッチビー教室(NPO法人法政クラブと連携) <子どもセンターただON> ドッジボールタイム、フットサルタイム(ASVペスカトーラ町田と連携)、ブレイクダンスタイム(高校生と地域の方による指導) <子どもセンターまあち>出前ドッチビー教室(NPO法人法政クラブと連携) <まちとも> キャッチボール教室、三角ベース教室(地区協議会と連携)、2017年度からスポーツ振興課で実施する「子どもと高齢者の体力向上推進事業」の中で一部のまちとも実施校と連携していけるよう検討を進めている。				

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (1) 子どものスポーツ推進

番号	1-6		実施主体	指導課	
推進施策	学齢期のスポーツの推進				
事業名	学校教育へのスポーツ指導員の活用事業				
取り組み内容	スポーツ指導員登録制度を利用し、小・中学校のクラブ活動・部活動における各種スポーツの指導者や体育の指導補助者として、スポーツ指導員を学校に派遣する。				
事業目標	指標	スポーツ指導員登録制度の活用		計画初期値	—
				目標水準	実施
実施計画		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
	—		検討	実施	
実施状況		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
	—		—	見直し	
2016年度の具体的な取り組み内容	指導員登録制度の見直しに伴い、当事業についても見直しをすることとした。				

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (1) 子どものスポーツ推進

番号	1-7		実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ		
推進施策	学齢期のスポーツの推進					
事業名	食育推進事業					
取り組み内容	栄養学講義や調理実習、就農体験等の食に関するイベント、教室、スポーツ団体の行う事業に対し、支援を行う。					
事業目標	指標	教室・イベント等の実施数		計画初期値	—	
				目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	年1回	→	年2回	→	年3回	
実施状況	年2回	年2回	年2回	/		/
2016年度の具体的な取り組み内容	地域スポーツクラブであるアスレチッククラブ町田に業務委託し、年間2回の食育イベント(スポーツ栄養学講座)を実施した。					

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (1) 子どものスポーツ推進

番号	1-8		実施主体	町田市こどもマラソン大会実行委員会		
推進施策	学齢期のスポーツの推進					
事業名	町田市こどもマラソン大会					
取り組み内容	児童を対象に、陸上競技場でマラソン大会を行う。					
事業目標	指標	大会参加人数		計画初期値	1,570人	
				目標水準	2,200人	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	1,850人	1,900人	2,000人	2,100人	2,200人	
実施状況	1,893人	2,058人	2,227人	/		/
2016年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月3日に大会を実施し、小学3～6年生2,227人の参加があった。</li> <li>・当日はパラリンピック普及啓発事業を実施し、車椅子バスケット、レース用車椅子の体験ブース等を設け、魅力的な大会づくりに努めた。</li> <li>・参加者の募集に際しては、パンフレットの配布に加え、学校から児童に対する参加の働きかけを行った。</li> </ul>					

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-9		実施主体	保健企画課 保健予防課		
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進					
事業名	健康づくり推進事業					
取り組み内容	健康づくり推進員研修において、正しい歩き方や靴の選び方などウォーキングに関する研修を実施する。					
事業目標	指標	スポーツに関連する研修の実施回		計画初期値	年1回	
		目標水準		年1回		
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年1回				見直し 実施	
実施状況	年1回	年1回	年1回			
2016年度の具体的な取り組み内容	運動をするために重要な「背骨を整える」、「筋力をつける」ことについて、外部講師を招き、研修会を実施した。					

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-10		実施主体	健康課 保健予防課		
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進					
事業名	親子栄養講習会					
取り組み内容	講習会を実施する。					
事業目標	指標	講習会実施回数		計画初期値	年1回	
		目標水準		増加		
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年1回			見直し 実施		
実施状況	年1回	年1回	年1回			
2016年度の具体的な取り組み内容	栄養講習会として、スポーツトレーナーによる親子で遊びながらできる運動を実施した。					

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-11		実施主体	健康課 健康推進課	
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進				
事業名	健康教育講座				
取り組み内容	運動に関する講演会を実施する。				
事業目標	指標	講演会実施回数	計画初期値	年1回	
			目標水準	増加	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年1回	→	見直し 実施	→	→
実施状況	年1回	年1回	年1回	/	/
2016年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくりから生活習慣病予防・重症化予防を目的とし、病態生理、運動との関係、実技に内容の見直しを図った。</li> <li>糖尿病に焦点を当て、世界糖尿病デーに合わせた11月に実施した。</li> </ul>				

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-12		実施主体	健康課 保健予防課	
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進				
事業名	健康づくり講習会				
取り組み内容	講習会を実施する。				
事業目標	指標	講演会実施回数	計画初期値	年4回	
			目標水準	増加	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年4回	年2回	見直し 実施	→	→
実施状況	年4回	年2回	年2回	/	/
2016年度の具体的な取り組み内容	健康づくり講習会として、若年層をターゲットにスポーツトレーナーによる運動を年2回実施した。				

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-13		実施主体	町田市体育協会		
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進					
事業名	講師派遣事業					
取り組み内容	地域で健康づくりに取り組んでいる団体に対してスポーツ実技や食育、心の健康等に関する知識のある講師を派遣する。					
事業目標	指標	講師派遣実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
			検討	実施		
実施状況	検討	検討	見直し			
2016年度の具体的な取り組み内容	講師派遣の体制や費用面に課題があり、事業の見直しを行うこととした。今後は目的達成のため、様々なアプローチの方法を検討していく。					

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-14		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者		
推進施策	既存施設の利用時間の延長					
事業名	既存施設の利用時間の延長等					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者が自主事業として行っている利用時間延長等の取り組みを制度化し、継続する。</li> <li>利用時間の延長を検討する。(屋外スポーツ施設については、夜間照明設備整備に合わせて利用時間延長をする必要がある。)</li> </ul>					
事業目標	指標	利用時間を変更した施設数	計画初期値	2施設		
			目標水準	増加		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
			現在実施している取組の継続 利用時間延長の検討	条例改正(必要に応じて)	施行	
実施状況	現在実施している取組の継続 利用時間延長の検討	実施 検討	実施			
2016年度の具体的な取り組み内容	<p>各施設において利用時間の延長の取り組みを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○室内プール                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月21日～8月31日に、サマータイム営業として午前8時30分に開館した。(通常は午前9時開館)</li> </ul> </li> <li>○成瀬クリーンセンターテニスコート                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・5～8月の夜間照明設備のないコートの利用時間延長(午後5時～7時)を実施した。</li> <li>・7～8月の土日祝に早朝時間(午前7～9時)のコート貸出を実施した。</li> </ul> </li> <li>○小野路公園                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・早朝特別枠(午前7時から使用)に関して対応を行った。</li> </ul> </li> <li>・小野路球場は、夜間照明設備の工事を行っており、2017年8月に使用開始予定。</li> <li>○鶴川中央公園                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季時間実施期間中において利用時間延長の対応を行った。</li> </ul> </li> </ul>					



施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-15		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	既存施設の利用時間の延長					
事業名	夜間照明施設整備事業					
取り組み内容	小野路球場をはじめとする市内の既存スポーツ施設に、夜間照明設備を整備する。					
事業目標	指標	夜間照明設置箇所数	計画初期値	7箇所		
			目標水準	12箇所		
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討・調整		検討・調整設計	5箇所設置 (計12箇所)	—	—
実施状況	検討・調整		検討・調整一部設計	検討一部工事		
2016年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2016年6月に小野路球場夜間照明設備整備工事契約を行った。</li> <li>・成瀬クリーンセンターテニスコートの照明設備の修繕を行った。</li> </ul>					

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-16		実施主体	指定管理者		
推進施策	ファミリースポーツの推進					
事業名	指定管理者による親子スポーツ教室事業					
取り組み内容	親子を対象とした教室を開催し、教室参加者を増やす。					
事業目標	指標	教室参加者数	計画初期値	2,221名		
			目標水準	2,450名		
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	2,250名		2,300名	2,350名	2,400名	2,450名
実施状況	3,976名		5,767名	16,213名		
2016年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○総合体育館                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立歩行ができるようになった幼児から小学校入学前の子どもとその保護者を対象とした教室を年齢ごとに4つに分けて開催した。</li> <li>・子どもの身体づくりのためや保護者同士のコミュニケーションの場を増やすために「よちよち親子体操教室」「てくてく親子体操教室」を昨年より回数を増やし実施した。(延参加者数4,346名)</li> </ul> </li> <li>○室内プール                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子で参加可能なイベントを毎月開催した。(延参加者数10,829名)</li> </ul> </li> <li>○成瀬クリーンセンターテニスコート                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月に「親子テニスレッスン」を実施した。(参加者数54名)</li> <li>・3月に「親子テニスレッスン&amp;ミニゲーム大会」を実施した。(参加者数80名)</li> </ul> </li> <li>○サン町田旭体育館                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児(2歳半～3歳児)とその保護者を対象とした体操教室を3期にわたり実施した。(延参加者数904名)</li> </ul> </li> <li>○野津田公園                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生とその家族を対象としたファミリー駅伝を実施した。</li> </ul> </li> </ul>					

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-17		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者		
推進施策	ファミリースポーツの推進					
事業名	スポーツ施設の親子利用促進					
取り組み内容	親子が利用できる施設の提供と周知を行う。					
事業目標	指標	スポーツ施設の親子利用促進		計画初期値	事業実施	
				目標水準	継続	
実施計画	実施 施設PR方法 の検討	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実施状況	実施	実施	実施			
2016年度の具体的な取り組み内容	○総合体育館 ・5月「まちだ★こどもフェスタ」において、リサイクル材(牛乳パック等)を使用しておもちゃづくりを実施し、親子がふれあう機会を提供した。 ・9月「まちだスポーツ広場」にて、リオオリンピック・パラリンピック種目を親子で体験することができる場を提供した。 ・12月「まちだHappyX'mas 親子でいっしょ♪レクリエーション」を実施し、身体運動を通じて親子のコミュニケーションを図る場を提供した。 ○室内プール ・6～10月の期間に屋外スペースに「幼児テラス」を設置し、プールを利用できない乳幼児が水遊びをできる場として開放した。 ・年2回無料公開イベント「プール祭り」を実施し、親子のコミュニケーションの場として提供した。 ・毎月プールや会議室、ロビーなどで季節に応じたイベントを開催した。 ○サン町田旭体育館 1月～2月に、野球場の外野、芝生部分を、親子等がボール遊びをする場やスポーツを通じてコミュニケーションをとる場として開放した。 ○小野路公園 管理棟テラスの開放・管理棟内の観覧場所の提供を行った。					

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-18		実施主体	地域スポーツクラブ		
推進施策	ファミリースポーツの推進					
事業名	地域一体型ファミリースポーツ推進事業					
取り組み内容	・地域スポーツクラブにおけるファミリー対象イベントを活性化させる。 (例:体験イベント⇒定期イベント) ・エリア内の地域スポーツクラブと町内会自治会が共同で開催するファミリー対象イベント(ウォーキング等の簡単なものから、地域運動会まで)を実施する。					
事業目標	指標	事業の実施		計画初期値	—	
				目標水準	実施	
実施計画	企画・実施	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実施状況	企画・実施	企画・実施	企画・実施			
2016年度の具体的な取り組み内容	8月に設立したおやまスポーツ・文化倶楽部では、町田市地域スポーツクラブ設立及び運営事業補助金を利用して、11月に小山町・小山ヶ丘地域住民を対象に多種目のスポーツ体験イベントを開催し、約400人が参加した。					

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-19		実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員	
推進施策	ファミリースポーツの推進				
事業名	スポーツ推進委員による運動機会創出交流事業				
取り組み内容	・ドッチビー、ネオテニス、卓球、バドミントンなど、年齢を問わず誰でも楽しむことができる種目を複数行う。 ・これまで実施してきている「スポーツにチャレンジ」を、児童の親だけでなく祖父母の参加を促すことで、ファミリースポーツの場として広めていく。				
事業目標	指標	事業の実施回数	計画初期値	年3回	
			目標水準	年6回	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年5回		→	年6回	→
実施状況	年8回	年6回	年6回		
2016年度の具体的な取り組み内容	小学生とその保護者を対象とした「スポーツにチャレンジ」事業を実施し、これまで事業を行ってきたサン町田旭体育館に加え、昨年度に引き続き、地域からの要望があった南二小子ども会でも実施した。				

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-20		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	働き盛りの人のためのプログラムの開発				
事業名	民間プログラム連携事業				
取り組み内容	民間スポーツクラブと提携し、働く人のライフスタイルに合わせて民間スポーツ施設を利用できる制度(利用助成)を検討し、実施する。				
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討		→	実施	→
実施状況	検討	検討	検討		
2016年度の具体的な取り組み内容	利用助成制度を導入している自治体の情報を収集を行った。当制度導入のためには、費用面の問題や民間スポーツクラブ・市所管施設への影響等を慎重に検討する必要がある。				

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-21		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	働き盛りの人のためのプログラムの開発					
事業名	学校温水プールでの教室事業					
取り組み内容	学校温水プールの夜間時間帯や土・日・祝日を中心に、働き盛りの年代を対象にした教室を開催する。					
事業目標	指標	働き盛りの人を対象とした教室の実施		計画初期値	—	
				目標水準	実施	
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討		→	実施	→	
実施状況	検討	検討	実施			
2016年度の具体的な取り組み内容	各中学校で、管理者が「無料レッスン」を行い、参加者に泳ぎ方や練習方法等を指導した。					

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-22		実施主体	指定管理者		
推進施策	働き盛りの人のためのプログラムの開発					
事業名	指定管理者による勤労者スポーツ教室事業					
取り組み内容	夜間時間帯や土・日・祝日を中心に、働き盛りの年代を対象にした教室を開催し、教室参加者を増やす。					
事業目標	指標	働き盛りの人を対象とした教室の実施		計画初期値	2,226名	
				目標水準	2,500名	
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	2,300名		2,350名	2,400名	2,450名	2,500名
実施状況	2,837名	4,042名	3,371名			
2016年度の具体的な取り組み内容	<p>○総合体育館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜日及び日曜日に「勤労者バドミントン教室」「初心者アーチェリー教室」「初心者和弓教室」を実施した。(延参加者数645名)</li> <li>・夜間プログラム「シェイプボディ」「エアロビクス」を毎週実施した。(延参加者数1,500名)</li> <li>・日曜・夜間に「お楽しみプログラム」を実施した。(延参加者数114名)</li> <li>・祝日にトレーニング室で限定プログラムを実施した。(延参加者数410名)</li> </ul> <p>○室内プール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間に「かんたん無料レッスン」を実施した。(延参加者数260名)</li> <li>・夜間に水中エアロ教室を実施した。</li> </ul> <p>○サン町田旭体育館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>勤労者が通える平日の夜間帯に卓球教室を実施した。(延参加者数442名)</li> </ul>					

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (3) 高齢者のスポーツ推進

番号	1-23		実施主体	高齢者福祉課		
推進施策	【重点施策】高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成					
事業名	高齢者スポーツ普及事業					
取り組み内容	既存の団体で新たにゲートボール及びグラウンドゴルフの活動始める者に対し、用具の貸与を行う。					
事業目標	指標	用具貸出件数	計画初期値	6件		
			目標水準	8件		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	6件	→	7件	→	8件	
実施状況	6件	2件	6件	/		/
2016年度の具体的な取り組み内容	老人クラブに、計6件(ゲートボール2件、グラウンドゴルフ4件)の貸与を行った。					

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (3) 高齢者のスポーツ推進

番号	1-24		実施主体	高齢者福祉課		
推進施策	【重点施策】高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成					
事業名	ロコモティブシンドローム対策事業					
取り組み内容	ロコモティブシンドロームに関する知識や体操の啓発を行う。					
事業目標	指標	講習会参加人数	計画初期値	468人		
			目標水準	500人		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	460人	470人	480人	490人	500人	
実施状況	423人	413人	471人	/		/
2016年度の具体的な取り組み内容	12高齢者支援センターに「ロコモ予防！歩く測定会」を委託し、21回開催した。測定会は介護予防サポーター測定会チームと協働して運営し、ロコモ予防の普及啓発を行った。					

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (3) 高齢者のスポーツ推進

番号	1-25		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	【重点施策】高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成				
事業名	スポーツ指導員育成事業				
取り組み内容	官公庁や、各種団体によって開催されているスポーツ指導員育成のための研修会等に参加するための費用や、スポーツ指導に関連した資格取得のための費用を助成する。				
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	実施			
実施状況	検討	検討	見直し		
2016年度の具体的な取り組み内容	指導員登録制度の見直しに伴い、当事業についても見直しをすることとした。				

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (3) 高齢者のスポーツ推進

番号	1-26		実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員	
推進施策	【重点施策】高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成				
事業名	〔再掲〕スポーツ推進委員による運動機会創出交流事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドッチビー、ネオテニス、卓球、バドミントンなど、年齢を問わず誰でも楽しむことができる種目を複数行う。</li> <li>・これまで実施してきている「スポーツにチャレンジ」を、児童の親だけでなく祖父母の参加を促すことで、ファミリースポーツの場として広めていく。</li> </ul>				
事業目標	指標	事業の実施回数	計画初期値	年3回	
			目標水準	年6回	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年5回			年6回	
実施状況	年8回	年6回	年6回		
2016年度の具体的な取り組み内容	小学生とその保護者を対象とした「スポーツにチャレンジ」事業を実施し、これまで事業を行ってきたサン町田旭体育館に加え、昨年度に引き続き、地域からの要望があった南二小子ども会でも実施した。				

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (4) 障がいのある人のスポーツ推進

番号	1-27		実施主体	障がい福祉課 スポーツ振興課		
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進					
事業名	障がい者スポーツ大会					
取り組み内容	様々な機関と連携を図り、毎年1回、障がい者スポーツ大会を開催する。					
事業目標	指標	事業の継続	計画初期値	年1回		
			目標水準	年1回		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	年1回				→	
実施状況	年1回	年1回	年1回		/	
2016年度の具体的な取り組み内容	11月3日に、町田市立総合体育館で開催し、約1,000人(市内福祉事業所及び一般参加者等)の参加があった。					

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (4) 障がいのある人のスポーツ推進

番号	1-28		実施主体	障がい福祉課		
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進					
事業名	障がい児スポーツ教室事業					
取り組み内容	年間30回以上を目標に、障がい児スポーツ教室を開催する。					
事業目標	指標	事業の継続	計画初期値	年30回以上		
			目標水準	年30回以上		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	年30回以上				→	
実施状況	年35回	年35回	年36回		/	
2016年度の具体的な取り組み内容	サン町田旭体育館とすみれ会館温水プールの2か所で、それぞれ36回の教室を開催した。					

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (4) 障がいのある人のスポーツ推進

番号	1-29		実施主体	指定管理者	
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進				
事業名	障がい者スポーツ教室事業				
取り組み内容	障がいのある方のスポーツに対するニーズを把握し、新たな教室を実施する。 教室の実施に際しては、参加希望の方に対して事前相談を行い、それぞれの実情に応じた指導ができるようにする。				
事業目標	指標	新たな教室の実施	計画初期値 目標水準	— 実施	
		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度 2018年度
実施計画	検討	→	実施	→	
実施状況	実施	実施	実施	/	
2016年度の具体的な取り組み内容	<p>○総合体育館                  ・障がい者卓球教室を実施した。                  ・小学生とその保護者を対象とした「チャレンジふれあいスポーツ教室」を9月に実施した。</p> <p>○サン町田旭体育館                  ・障がい者卓球教室を実施した。                  ・トレーニングルームにて、障がいのある方に対し、筋力トレーニングの指導を行った。また、車椅子を必要とする方等へ姿勢改善や日常動作の改善などの指導を行った。</p> <p>○野津田公園                  関東パラ陸上競技協会との共催により、障がいのレベルと個人の体力・技術のレベルに合わせて指導を行う、パラ(障がい者)陸上競技教室を年間18回開催した。</p>				

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (4) 障がいのある人のスポーツ推進

番号	1-30		実施主体	指定管理者	
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進				
事業名	障害者スポーツ指導員配置事業				
取り組み内容	市内スポーツ施設に障害者スポーツ指導員を配置する。				
事業目標	指標	スポーツ施設への障害者スポーツ指導員の配置	計画初期値 目標水準	— 実施	
		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度 2018年度
実施計画	検討	→	実施	→	
実施状況	実施	実施	実施	/	
2016年度の具体的な取り組み内容	<p>○総合体育館                  障がい者スポーツ指導員(初級)の有資格者を4名配置し、トレーニングルームや教室にて各種事業を行った。</p> <p>○室内プール                  初級障害者スポーツ指導員の資格を有する職員を2名配置した。</p> <p>○サン町田旭体育館                  職員が初級障がい者スポーツ指導員の資格を取得した。</p>				



施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (4) 障がいのある人のスポーツ推進

番号	1-31		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進				
事業名	〔再掲〕スポーツ指導員育成事業				
取り組み内容	官公庁や、各種団体によって開催されているスポーツ指導員育成のための研修会等に参加するための費用や、スポーツ指導に関連した資格取得のための費用を助成する。				
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	実施			
実施状況	検討	検討	見直し		
2016年度の具体的な取り組み内容	指導員登録制度の見直しに伴い、当事業についても見直しをすることとした。				

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり  
 (1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-1		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	【重点施策】地域スポーツ推進のためのクラブハウス等の整備				
事業名	地域学校開放推進事業				
取り組み内容	既存の学校施設を、地域のスポーツ活動拠点として位置づけ、地域スポーツクラブを設立する。その中で必要に応じて、シャワー・トイレ・更衣室・ミーティングルーム等を備えたクラブハウス機能を整備する。				
事業目標	指標	クラブハウス機能が整備された数	計画初期値	2箇所	
	目標水準	10箇所			
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	新規3箇所 (計5箇所)	新規2箇所 (計7箇所)	新規3箇所 (計10箇所)	—	—
実施状況	1箇所 (計3箇所)	1箇所 (計4箇所)	0箇所 (計4箇所)		
	2016年度の具体的な取り組み内容				
七国山小学校に地域スポーツクラブの拠点となるクラブハウス1箇所の設計を行った。(学校を拠点とする地域スポーツクラブの設立支援を最優先に行い、クラブハウスを運営する地域スポーツクラブの設立と学校施設の条件が整った場合、クラブハウスを設置している。)					

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり  
 (1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-2		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	【重点施策】地域スポーツ推進のためのクラブハウス等の整備				
事業名	学校施設・備品改善事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設の修繕や、学校開放に関連する備品の購入をスポーツ振興課で実施できる事務体系を構築する。</li> <li>・地域スポーツクラブ整備校を中心に施設修繕や備品購入を実施し、地域のスポーツ活動拠点としてのPRも一体的に図る。</li> </ul>				
事業目標	指標	学校施設開放利用登録者数	計画初期値	11,000人	
	目標水準	13,500人			
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	11,500人	12,000人	12,500人	13,000人	13,500人
実施状況	計画	備品購入の一部実施	備品購入の一部実施		
	2016年度の具体的な取り組み内容				
地域スポーツクラブが設立されている学校から、市で順次備品購入を実施した。また、地域スポーツクラブに対し、設立または運営に要する経費の一部を補助することによって、備品購入を支援した。					

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり  
 (1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-3		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	【重点施策】ストリート系スポーツの場の整備				
事業名	スケートパーク整備事業				
取り組み内容	第二次野津田公園整備基本計画で予定されているスケートパークの整備に向けて、安全に楽しむためのルールづくりや管理運営の方法について検討する。				
事業目標	指標	スケートパーク整備のための検討	計画初期値	—	
			目標水準	検討	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討				
実施状況	検討	検討	検討		
2016年度の具体的な取り組み内容	庁内関係課で構成する「トップスポーツ施設整備プロジェクト」にて検討を進めた。				

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり  
 (1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-4		実施主体	公園緑地課	
推進施策	公園・緑地等の芝生の整備				
事業名	公園・緑地等の芝生整備事業				
取り組み内容	公園・緑地等で芝生の整備が可能な場所を検討し、整備する。				
事業目標	指標	芝生の整備	計画初期値	—	
			目標水準	検討	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討				
実施状況	検討	検討	基本設計		
2016年度の具体的な取り組み内容	芦ヶ谷公園に隣接する都営住宅跡地を拡張区域とし、芝生広場を整備する基本設計を完了した。				

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり  
 (1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-5		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出				
事業名	高架下スペースのスポーツ利用				
取り組み内容	小山沼陸橋高架下スペースの一部について、地域と調整し、スポーツ利用できるように整備する。				
事業目標	指標	スポーツ利用のための整備	計画初期値	—	
			目標水準	1箇所	
実施計画		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
	検討				1箇所
実施状況	検討	検討	検討		
2016年度の具体的な取り組み内容	<p>・多摩都市計画道路3・1・6号線(南多摩尾根幹線道路)の高架下に、公園「沼中央広場」を整備、公園の一部をスポーツ施設として活用することが決定した。テニスの壁打ちができるボードとバスケットボールゴール、高さ5メートルの防球ネットを設置し、各種競技の練習や親子でのボール遊び等、誰もが安全にスポーツに親しめる場を提供する。2017年度上半期に整備工事契約予定。</p> <p>・高架下スペースのほかに、小山上沼公園内の調整池において、調整池の機能を損なうことなくスポーツを中心とした多目的広場を整備するための基礎的な調査を実施した。</p>				

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり  
 (1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-6		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出				
事業名	法政スポーツ教室事業				
取り組み内容	<p>・大学と市との協定にもとづき、共催で、在住・在勤・在学者及び大学近隣住民を対象に、初心者から上級者まで参加できるスポーツ教室を開催する。</p> <p>・ニーズに合った教室を開催するとともに教室情報を広く市民に普及できるよう、大学と協力して方策を検討・実施する。</p>				
事業目標	指標	延べ参加者数	計画初期値	233人	
			目標水準	250人	
実施計画		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
	240人				250人
実施状況	282人	289人	291人		
2016年度の具体的な取り組み内容	<p>教室情報を広報まちだ、市ホームページに掲載し、事業の周知を図ったほか、大学側と打ち合わせを重ね、参加者の年齢や居住地域等の情報共有し、今後の事業の連携事業のあり方について協議した。</p>				

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり  
 (1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-7		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出				
事業名	東京家政学院大学テニスコート開放事業				
取り組み内容	大学と市との協定にもとづき、大学のテニスコートを大学が使用しない日・時間に限り、大学周辺の相原町・小山町・小山ヶ丘在住の地域住民を中心に、無料で開放する。				
事業目標	指標	年間利用率	計画初期値	47%	
			目標水準	70%	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	50%	55%	60%	65%	70%
実施状況	48.1%	62.7%	60.2%		
2016年度の具体的な取り組み内容	<p>広報まちだやホームページを利用し、利用率の向上を図った結果、目標の60%を上回った。</p> <p>団体登録数                  2014年度 21団体                  2015年度 24団体                  2016年度 24団体</p> <p>団体登録者数                  2014年度 131名                  2015年度 145名                  2016年度 147名</p>				

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり  
 (1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-8		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出				
事業名	大学連携推進事業				
取り組み内容	既に連携協力を行っている法政大学・東京家政学院大学以外の市内大学と連携協力し、大学施設を市民が利用できる仕組みを検討・実施する。				
事業目標	指標	市と連携協力している 大学数	計画初期値	2大学	
			目標水準	増加	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討		協定締結 実施		
実施状況	検討	検討	検討		
2016年度の具体的な取り組み内容	<p>施設の利用状況に関する情報収集をしている中で、一部の大学では既に大学の活動で空きがなく、大学施設(ハード面)の利用の拡大が難しい現状があることが分かった。今年度は情報収集等に時間を要し、協定締結に至らなかったが、今後は、人材活用等のソフト面連携の方法も含めて連携・協力を検討する必要がある。</p>				

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり  
 (2) 地域スポーツの仕組みづくり

番号	2-9		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	【重点施策】まちだ地域スポーツクラブモデル事業の推進				
事業名	地域スポーツクラブ設立・運営推進事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内小・中学校を拠点に、学校開放制度を運営している学校開放運営委員会、及び制度を利用している各利用団体を中心に地域スポーツクラブ設立を働きかける。</li> <li>・クラブの設立及び運営に向けて、クラブハウス管理運営委託及び地域スポーツクラブ事業運営補助を実施する。</li> </ul>				
事業目標	指標	地域スポーツクラブ整備数	計画初期値	4団体	
			目標水準	20団体	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	新規3団体 (計7団体)	新規2団体 (計9団体)	新規3団体 (計12団体)	新規4団体 (計16団体)	新規4団体 (計20団体)
実施状況	1団体 (計5団体)	2団体 (計7団体)	1団体 (計8団体)		
2016年度の具体的な取り組み内容	学校開放運営委員会・スポーツ広場管理運営委員会を中心に、地域スポーツクラブ設立の働きかけを行い、事業運営費補助を実施することで、1団体が地域スポーツクラブを設立し、4団体が地域スポーツクラブ設立に向け準備を行うまでに至った。また、地域スポーツクラブ2団体にクラブハウスの管理運営委託を行った。				

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり  
 (2) 地域スポーツの仕組みづくり

番号	2-10		実施主体	スポーツ推進委員	
推進施策	【重点施策】「まちだニュースポーツ」の推進				
事業名	まちだニュースポーツ推進事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニュースポーツの研究及び市内におけるニュースポーツ活動の状況を把握する。</li> <li>・推進する種目の選定及び事業の実施を行う。</li> </ul>				
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	企画・検討	→	実施	→	→
実施状況	検討	企画・検討	実施		
2016年度の具体的な取り組み内容	ニュースポーツ選定の候補の一つとして、「クップ」を検討し、南二小でのスポーツ教室で実施した。実際に体験した参加者からの声を集約し、今後の方針について再検討する。				

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり  
 (2) 地域スポーツの仕組みづくり

番号	2-11		実施主体	児童青少年課(ひなた村)	
推進施策	【重点施策】「まちだニュースポーツ」の推進				
事業名	キンボールスポーツ事業				
取り組み内容	年間通じ、ひなた村で教室を前期、後期それぞれ8回、また教室のフォローアップとして10回、1時間ずつ、水曜日に実施している。 また、ひなた村のプログラムサービス事業として、地域の学校の学年行事として、またPTAや子ども会からの要請で、学校の体育館を利用し、年間約10校にてキンボール事業を実施しており、事業の拡充を検討する。				
事業目標	指標	プログラムサービス事業実施校	計画初期値	10校	
			目標水準	15校	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	11校	12校	13校	14校	15校
実施状況	10校	14校	14校		
2016年度の具体的な取り組み内容	小学校の学年行事、サマースクール等で7校12回実施した。その他、子ども会の要請により2回実施した。				

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり  
 (2) 地域スポーツの仕組みづくり

番号	2-12		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	大学との協定の締結				
事業名	スポーツに関わる人材育成連携事業				
取り組み内容	大学のゼミや講義と連携した、下記各種取り組みを行う。 ・地域スポーツクラブ等で開催されるスポーツ教室において、指導を通じた地域貢献を行う。 ・市内外スポーツイベントへボランティアとして積極的に参加できるシステムを構築する。				
事業目標	指標	市の事業と連携する大学数	計画初期値	—	
			目標水準	3大学	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	制度設計・調整		新規1大学(計1大学)	新規1大学(計2大学)	新規1大学(計3大学)
実施状況	検討	検討	新規2大学(計2大学)		
2016年度の具体的な取り組み内容	・NPO法人法政クラブとの協働で、法政大学の教授と連携による小学生対象のドッジビー教室を実施した。 ・大原医療秘書公務員専門学校と連携し、学生が市主催のスポーツイベント(市民体カテスト、子どもマラソン大会)に参加した。 ※大原医療秘書公務員専門学校との連携も、指標の連携大学数に計上。				

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり  
 (2) 地域スポーツの仕組みづくり

番号	2-13		実施主体	町田市体育協会	
推進施策	スポーツ指導員の充実				
事業名	スポーツ指導員登録制度事業				
取り組み内容	スポーツ指導員の登録制度を確立し、市内の団体、部活動等の学校における活動、地域スポーツクラブ及び地域活動へ指導員を紹介する。				
事業目標	指標	登録制度の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
			検討	実施	
実施状況	検討	検討	見直し		
2016年度の具体的な取り組み内容	体育協会にて制度確立に向け調整を行っていたが、地域団体・学校との連携や費用に関する課題の解消がすぐには難しい現状があるため、見直しを行うこととした。今後は目的達成のため、様々なアプローチの方法を検討していく。				

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり  
 (2) 地域スポーツの仕組みづくり

番号	2-14		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	スポーツ指導員の充実				
事業名	〔再掲〕スポーツ指導員育成事業				
取り組み内容	官公庁や、各種団体によって開催されているスポーツ指導員育成のための研修会等に参加するための費用や、スポーツ指導に関連した資格取得のための費用を助成する。				
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
			検討	実施	
実施状況	検討	検討	見直し		
2016年度の具体的な取り組み内容	指導員登録制度の見直しに伴い、当事業についても見直しをすることとした。				



施策2：「市民スポーツ」の環境づくり  
 (2) 地域スポーツの仕組みづくり

番号	2-15		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	ボランティアスタッフが活躍できる仕組みづくり				
事業名	スポーツボランティア活性化事業				
取り組み内容	スポーツ祭東京2013でボランティアスタッフとして活躍した「まちだサポーターズ」を引き続き、組織・運営し、研修や市内外のスポーツイベントへの参加を通じて行政とともにスポーツを「支える」意識を高める。				
事業目標	指標	「まちだサポーターズ」 年間延べ活動人数	計画初期値	—	
			目標水準	1,200人	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	600人	750人	900人	1,050人	1,200人
実施状況	2,000人	2,500人	2,300人		
2016年度の具体的な取り組み内容	・これまで継続しているイベントのほか、大相撲町田場所や東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた気運醸成イベントなど新規の事業にもボランティアが活躍した。(181事業、延べ2,300人) ・まちサポ会議にて、ボランティア活動の質を向上させるための話し合いを行い、ボランティアの質や気運を高める取り組みを実施した。				

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり  
 (3) 既存スポーツ施設の有効活用

番号	2-16		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	既存スポーツ施設の有効利用				
事業名	屋外スポーツ施設維持管理事業				
取り組み内容	・屋外スポーツ施設の維持管理計画を策定する。 ・計画に基づき、維持管理・修繕を進める。				
事業目標	指標	計画に基づく施設整備・修繕の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討		維持管理 計画策定	施設維持 ・修繕	
実施状況	検討	一部修繕	一部修繕		
2016年度の具体的な取り組み内容	・成瀬クリーンセンターのハードコートを砂入り人工芝コートに全面改修した。 ・施設維持管理については、財政状況に大きく左右されることが多く、計画策定の検討には至らなかった。				

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり  
 (3) 既存スポーツ施設の有効活用

番号	2-17		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	既存スポーツ施設の有効利用					
事業名	スポーツ広場の再編成・整備事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ広場の施設整備方針に基づく整備を行う。</li> <li>・施設案内予約システム及び使用料の有料化を導入する。</li> <li>・民間活力による(PFI等)手法の導入等、効率的な整備推進を検討する。</li> <li>・地域スポーツクラブ設立や指定管理者等による新たな管理運営の視点を検討する。</li> </ul>					
事業目標	指標	スポーツ広場の施設整備及び管理運営の実施		計画初期値	—	
				目標水準	実施	
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	方針決定	計画策定	利用団体との調整	設計	整備工事	
実施状況	決定	方針決定	設計			
2016年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2017年1月に(仮称)緑ヶ丘グラウンド整備工事設計委託契約を行った。(2017年度工事契約予定)</li> <li>・「町田都市計画事業 南町田駅周辺土地地区画整理事業」の一環として鶴間第二スポーツ広場の工事に着手した。</li> <li>・2017年度以降、「スポーツをする場の環境整備事業」として、順次スポーツ広場等の施設整備を行っていくこととなった。</li> </ul>					

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり  
 (3) 既存スポーツ施設の有効活用

番号	2-18		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	既存スポーツ施設の有効利用					
事業名	利用種目の見直し					
取り組み内容	寄せられた要望を研究し、多くの市民にとって利用しやすい運用を検討する。利用可能種目を見直し、施設案内予約システムの仕様を変更する。					
事業目標	指標	利用種目の見直しの実施		計画初期値	—	
				目標水準	実施	
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	→			実施	
実施状況	検討	検討	検討			
2016年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ広場を予約可能施設に入れることができないか検討したが、運営団体との調整ができず、利用可能施設に追加する調整に至らなかった。</li> <li>・利用可能種目の増加については、フットサルだけでなくパラ競技での利用の要望やニュースポーツの利用希望が多いが、現状では予約可能種目にならないため利用許可ができない状況である。昨年からの引き続き利用可能種目の拡大を検討しているが、課題が多く実施が難しい。</li> </ul>					

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働

(1) 交流の活性化

番号	3-1		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	ホームタウンチームの社会貢献活動やイベントへの参加拡充					
事業名	ホームタウン活動マッチング事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域祭事や地域貢献活動に関わる自治会町内会などの地域団体に対して、ホームタウンチームに関する情報を発信し、連携・交流の機会のマッチングを行う。</li> <li>・市主催事業などについて、庁内で横断的な連絡・調整を図り、ホームタウンチームが地域に浸透する機会を創出する。</li> <li>・ホームタウンチームのホームタウン活動について、広報の支援を行う。</li> </ul>					
事業目標	指標	地域祭事、地域貢献活動、市主催事業等へのホームタウンチームの参加回数		計画初期値	70回	
	目標水準			140回		
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	80回		90回	100回	120回	140回
実施状況	139回		145回	222回		
2016年度の具体的な取り組み内容	<p>昨年度実施した「ホームタウンチームとの連携に関する調査」及びそれを基にしたマッチングをベースに、目標回数を大幅に上回る222回のホームタウン活動が行われた。</p> <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・FC町田ゼルビア192回</li> <li>・ASVペスカドーラ町田20回</li> <li>・キャノンイーグルス10回</li> </ul>					

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働

(1) 交流の活性化

番号	3-2		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	市内小・中学校との連携促進					
事業名	ホームタウンチームスポーツ普及啓発事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の保育園・幼稚園、小・中学校、高校、地域団体等を対象に、ホームタウンチームの主催する出前スポーツ教室とマッチング等を行い、支援する。</li> <li>・出前スポーツ教室の内容を拡充し、単なる競技だけでなく、スポーツ栄養学や職場体験、職業講座などの新たな取り組みも支援していく。</li> </ul>					
事業目標	指標	ホームタウンチームによる出前スポーツ教室等の延べ実施回数		計画初期値	54回	
	目標水準			150回		
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	60回		80回	100回	120回	150回
実施状況	59回		83回	115回		
2016年度の具体的な取り組み内容	<p>東京都市長会の多摩・島しょスポーツ振興事業助成金を活用し、FC町田ゼルビアの下部組織であるNPO法人アスレチッククラブ町田を中心に計115回の出前スポーツ教室を開催した。</p> <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・FC町田ゼルビア91回(スポーツ栄養学講座2回を含む)</li> <li>・ASVペスカドーラ町田21回</li> <li>・キャノンイーグルス3回</li> </ul>					

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働  
 (2) 運営支援

番号	3-3		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	スポーツイベントの集客増に向けた連携強化				
事業名	ホームゲーム開催周知連携事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームタウンチームと町内会・自治会や商店街、学校等をマッチングし、ホームゲームの開催周知や観戦招待などの取り組みを支援する。</li> <li>ホームタウンチームや、その運営を支えるボランティアが行う街頭周知活動等の取り組みについて、周知機会の提供やマッチング等により支援する。</li> </ul>				
事業目標	指標	ホームタウンチームホームゲームの年間観戦者数	計画初期値	69,503人	
			目標水準	17万人	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	8万人	10万人	12万人	14万人	17万人
実施状況	70,345人	107,585人	137,365人		
2016年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>FC町田ゼルビアについて、J2リーグ開幕戦に合わせて「FC町田ゼルビア応援ウィーク」を開催し、市職員によるユニフォームデーや町田駅前ポスタージャックなどの取り組みを行った結果、リーグ開幕戦としては過去最高となる10,112人を記録した。この他、年間を通じて町内会自治会への告知や市内小中学校の児童・生徒へのPR活動に積極的に取り組んだ結果、リーグ公式戦の計21試合で過去最高の107,592人を記録した。</li> <li>ASVペスカドーラ町田について、市内小中学校の児童・生徒に割引券を付けたホームゲームの広告を配布し増客に向けて支援した結果、リーグ公式戦の計14試合で20,604人を記録した。</li> <li>キャノンイーグルスについて、市内小中学校の児童・生徒にホームゲーム開催を案内するチラシを配布してPRした。また、市内の3校の小中学校で出前ラグビー教室を実施しPRを行った結果、リーグ公式戦2試合で3,850人を記録した。</li> </ul>				

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働  
 (2) 運営支援

番号	3-4		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	スポーツイベントの集客増に向けた連携強化				
事業名	ホームゲーム観戦・参加環境充実化支援事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームゲームの運営体制を支えるボランティア活動の支援をするとともに、まちだサポーターズとも連携した取り組みを行う。</li> <li>ホームゲームの会場への交通アクセス等に関する取り組みを支援し、その向上に努める。</li> </ul>				
事業目標	指標	ホームタウンチームのホームゲームにおけるボランティアスタッフの年間延べ活動人数	計画初期値	1,740人	
			目標水準	2,500人	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	2,100人	2,200人	2,300人	2,400人	2,500人
実施状況	2342人	2382人	2,404人		
2016年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>FC町田ゼルビアについては、運営体制も確立され、まちだサポーターズからのボランティア参加希望者も多く、安定した状況にある。また、ホームゲーム開催時には、町田駅からの直行バス(連節バス・ツインライナー)運行が実施され、その際に、まちだサポーターズによる乗車整理を行った。</li> <li>ASVペスカドーラ町田については、昨年度ボランティアに参加したまちだサポーターズから指摘のあった運営体制の問題を改善し、一定のボランティア参加者を確保している状況にある。</li> <li>キャノンイーグルスについては、まちだサポーターズがボランティアとして公式戦2試合の運営サポートを行った。</li> </ul>				

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働  
 (2) 運営支援

番号	3-5		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	試合会場・練習会場の優先確保				
事業名	ホームタウンチーム施設利用支援事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ施設の利用時間枠の見直し等により、全体の利用枠を拡大し、ホームタウンチームの利用枠も拡大する。</li> <li>・ホームタウンチームの自主的な練習施設確保の取り組みを支援する。</li> <li>・ホームタウンチームがスポーツ施設を利用する際の施設利用料等の負担を軽減させる。</li> </ul>				
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
		検討	→ 実施		
実施状況	検討	一部実施	実施		
2016年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度に調整・構築したインフィールド利用に関する運用基準に則り、市立陸上競技場のホームタウンチームの利用について円滑な運用を実施した。</li> <li>・FC町田ゼルビアの自主的な練習施設確保の取り組みを支援した。</li> <li>・ペスカドーラ町田の練習施設について、安定した練習環境の確保のための検討を開始した。</li> </ul>				

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働  
 (2) 運営支援

番号	3-6		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	サポーターの拡大				
事業名	ホームタウンチーム相互連携事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内に拠点を置く3つのホームタウンチームで連絡・調整を図る「連絡会(仮称)」を開催し、相互に連携できる環境を整える。</li> <li>・市内に拠点を置く3つのホームタウンチームの連携した取り組みを支援する。</li> </ul>				
事業目標	指標	3つのホームタウンチーム合同による連携活動の取り組み数	計画初期値	—	
			目標水準	3回	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
		連絡会の開催	1回	2回	3回
実施状況	協議の場の設定 2クラブによる共同企画実施	2回	3回		
2016年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内に拠点を置く3つのホームタウンチームを包括的にPRする「ホームタウンチーム展」を中央図書館で初めて実施した。</li> <li>・FC町田ゼルビアのホームゲーム開催の際に、キャノンイーグルスの選手がトークショー出演やチラシ配布等を行い、試合やラグビーの魅力をPRした。</li> <li>・FC町田ゼルビアとASVペスカドーラが同日開催されたホームゲームにおいて、共同企画を実施した。</li> </ul>				

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働

(3) 広報・告知活動の充実

番号	3-7		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	【重点施策】スポーツを通じたシティセールスの推進				
事業名	ホームスタジアムホスピタリティ向上事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームスタジアム及びその周辺、交通経路において、ホームタウンチームのチームカラーを生かした広報物の設置等を行うとともに、町田市におけるスポーツの盛り上がりや魅力を発信する。</li> <li>ホームゲーム開催時のホームスタジアムにおいて、町田市の魅力を発信するコンテンツを充実させる。</li> </ul>				
事業目標	指標	ホームゲーム開催時のホームスタジアムにおける町田市の魅力発信活動	計画初期値	JFL全試合実施	
			目標水準	他リーグへ拡充・コンテンツ充実	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	事業内容設計	実施			
実施状況	事業内容検討 一部実施	実施	実施		
2016年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>FC町田ゼルビアについて、職員ユニフォームウィークの開催や町田駅前ペDESTリアンデッキのポスタージャックなどのPRを図った。</li> <li>ASVペスカドーラ町田について、JR成瀬駅周辺および市立総合体育館に向かう道路に設置されている街路灯フラッグの破損・劣化している物を交換した。</li> <li>キャノンイーグルについて、ホームゲーム開催前に、JR町田駅と小田急町田駅北口にて、選手がホームゲーム開催をPRするためチラシの配布を行った。また、町田駅前ペDESTリアンデッキにホームゲーム開催のポスターを掲出した。</li> </ul>				

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(1) 競技スポーツの場の整備

番号	4-1		実施主体	スポーツ振興課 企画政策課 町田市オリンピック等国際大会関連事業推進本部	
推進施策	【重点施策】オリンピックキャンプ地招致				
事業名	2019年ラグビーワールドカップ及び 2020年東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地招致事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加国や関係各所への招致活動を行う。</li> <li>選手やスタッフの宿泊場所を確保するため、関係団体と調整を行う。</li> <li>市を挙げて「スポーツのまち・町田」をアピールする、機運の醸成を行う。</li> </ul>				
事業目標	指標	東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地招致・ラグビーワールドカップ2019キャンプ地招致	計画初期値	—	
			目標水準	招致	
実施計画	招致活動	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
実施状況	招致活動	招致活動	招致活動	招致活動	
2016年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係団体による、スポーツ施設の視察を受け入れた。(10団体)</li> <li>キャンプ地招致のためのDVDを作成した。</li> <li>ラグビーワールドカップ公認キャンプ地の立候補申請を行った。</li> <li>東京2020オリンピック・パラリンピックキャンプ地候補ガイドへの登録を行った。</li> <li>競技団体をはじめとする関係各所に対し、キャンプ地の招致活動を行った。</li> <li>市民会議を開催し、気運醸成をはかった。</li> </ul>				

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(1) 競技スポーツの場の整備

番号	4-2		実施主体	スポーツ振興課 企画政策課	
推進施策	【重点施策】オリンピックキャンプ地招致				
事業名	全国大会等誘致事業				
取り組み内容	<p>各種の全国大会等の公式試合を町田市で開催してもらえるように大会主催者やクラブチームに対して誘致活動を行う。</p> <p>・バドミントン日本リーグ・NBL(ナショナルバスケットボールリーグ(日本))・bjリーグ(日本プロバスケットボールリーグ)・全国高校サッカー選手権大会等</p>				
事業目標	指標	大会開催	計画初期値	—	
			目標水準	大会開催	
実施計画	誘致活動 大会開催	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
実施状況	誘致活動 大会開催	誘致活動 大会開催	誘致活動 大会開催	誘致活動 大会開催	
2016年度の具体的な取り組み内容	<p>昨年に引き続き開催された全日本大学サッカー選手権大会、全国車椅子バスケットボール大学選手権大会、関東パラ陸上大会のほか、初開催となったパラバドミントン強化合宿、マレーシアU22サッカー代表チーム合宿、ブラインドサッカーエキシビジョンマッチをとおして、キャンプ地招致につながるよう各団体との関係性を構築した。</p>				

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(1) 競技スポーツの場の整備

番号	4-3		実施主体	スポーツ振興課 企画政策課		
推進施策	【重点施策】オリンピックキャンプ地招致					
事業名	ジャパンラグビートップリーグ大会誘致事業					
取り組み内容	ラグビートップリーグで活躍するキャノンイーグルスの試合を陸上競技場で開催してもらえるようにキャノンイーグルス及び日本ラグビーフットボール協会に対して誘致活動を行う。					
事業目標	指標	大会開催		計画初期値	—	
		2014年度	2015年度	目標水準	大会開催	
実施計画	誘致活動 大会開催	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実施状況	誘致活動 大会開催	誘致活動 大会開催	誘致活動 大会開催	誘致活動 大会開催		
2016年度の具体的な取り組み内容	昨年に引き続き、9月2日にジャパンラグビートップリーグ公式戦「キャノンイーグルス対ヤマハ発動機ジュビロ」、10月22日に「キャノンイーグルス対パナソニックワイルドナイツ」が、陸上競技場にて開催された。					

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(1) 競技スポーツの場の整備

番号	4-4		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	スポーツ施設の有効活用策の検討					
事業名	競技スポーツの場の整備					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合体育館の得点表示板の更新を行う。</li> <li>総合体育館に大型バス乗降場を整備する。</li> <li>室内プール(50mプール)のコースロープを一新し、公認を受ける。</li> <li>室内プールの電光表示システムを更新する。</li> <li>総合体育館に大型映像装置を整備する。</li> <li>陸上競技場に大型映像装置の整備と観客席の増設を行う。</li> </ul>					
事業目標	指標	競技スポーツの場の整備		計画初期値	—	
		2014年度	2015年度	目標水準	整備	
実施計画	総合体育館得点表示板更新・室内プール50mコースロープ購入・公認手続き	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
			総合体育館大型バス乗降場整備の検討	総合体育館大型バス乗降場整備設計、総合体育館・陸上競技場大型映像装置設置検討、陸上競技場観客席増設検討、室内プール電光表示システム更新	総合体育館大型バス乗降場整備工事、総合体育館・陸上競技場大型映像装置設置設計、陸上競技場観客席増設設計	総合体育館大型バス乗降場整備工事、総合体育館・陸上競技場大型映像装置設置工事、陸上競技場観客席増設工事
実施状況	実施	実施	検討	検討		
2016年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合体育館大型バス乗降場整備の検討を行った。</li> <li>総合体育館大型映像装置について設置の検討を行った。</li> <li>陸上競技場大型映像装置設置について実施設計を行った。</li> <li>陸上競技場観客席増設の検討を行った。</li> <li>室内プール電光表示システムについて検討し、方針を決定した。</li> </ul>					



施策4：「トップスポーツ」の環境づくり  
 (2) 競技スポーツの連携強化

番号	4-5		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	スポーツ団体との情報の共有化				
事業名	体育協会等との情報共有の強化				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設指定管理者及び体育協会と連携し、次年度の施設利用優先受付業務を行う。</li> <li>体育協会との打合せを定期的に行い、加盟団体からの要望・意見を収集する。加盟団体からの要望は、公園緑地課や指定管理者と協議の上で対応を決定する。</li> </ul>				
事業目標	指標	体育協会との業務連携	計画初期値	実施	
			目標水準	強化	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
		優先受付取扱基準の見直し検討、各団体からの要望への対応検討・実施	施設利用優先受付業務の実施・改善		
実施状況	優先受付業務実施・見直し検討	施設利用優先受付業務の実施・改善	施設利用優先受付業務の実施・改善		
2016年度の具体的な取り組み内容	町田市体育協会事務局との打合せを定期的に行い、情報共有することで、スポーツ施設優先予約等の業務の改善を行った。				

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり  
 (2) 競技スポーツの連携強化

番号	4-6		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	ボランティアスタッフが活躍できる仕組みづくり[再掲]				
事業名	[再掲]スポーツボランティア活性化事業				
取り組み内容	スポーツ祭東京2013でボランティアスタッフとして活躍した「まちだサポーターズ」を引き続き、組織・運営し、研修や市内外のスポーツイベントへの参加を通じて行政とともにスポーツを「支える」意識を高める。				
事業目標	指標	「まちだサポーターズ」年間延べ活動人数	計画初期値	—	
			目標水準	1,200人	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
		600人	750人	900人	1,050人
実施状況	2,000人	2,500人	2,300人		
2016年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで継続しているイベントのほか、大相撲町田場所や東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた気運醸成イベントなど、新規の事業にもボランティアが活躍した。(181事業、延べ2,300人)</li> <li>まちサポ会議にて、ボランティア活動の質を向上させるための話し合いを行い、ボランティアの質や気運を高める取り組みを実施した。</li> </ul>				

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり  
 (2) 競技スポーツの連携強化

番号	4-7		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	大学との協定の締結[再掲]				
事業名	[再掲]スポーツに関わる人材育成連携事業				
取り組み内容	大学のゼミや講義と連携した、下記各種取り組みを行う。 ・地域スポーツクラブ等で開催されるスポーツ教室において、指導を通じた地域貢献を行う。 ・市内外スポーツイベントへボランティアとして積極的に参加できるシステムを構築する。				
事業目標	指標	市の事業と連携する大学数	計画初期値	—	
			目標水準	3大学	
実施計画		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
	制度設計・調整			新規1大学 (計1大学)	新規1大学 (計2大学)
実施状況		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
	検討		検討	新規2大学 (計1大学)	
2016年度の具体的な取り組み内容	・NPO法人法政クラブとの協働で、法政大学の教授と連携による小学生対象のドッジビー教室を実施した。 ・大原医療秘書公務員専門学校と連携し、学生が市主催のスポーツイベント(市民体カテスト、子どもマラソン大会)に参加した。 ※大原医療秘書公務員専門学校との連携も、指標の連携大学数に計上。				

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり  
 (3) 障がい者スポーツの活性化

番号	4-8		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	障がい者の競技スポーツ大会への場の提供				
事業名	障がい者の競技スポーツ大会誘致				
取り組み内容	障がい者スポーツの中でも、比較的認知度の高い車椅子バスケットボールの大会など障がい者の競技スポーツ大会を積極的に誘致し、継続的な開催を目指す。				
事業目標	指標	障がい者の競技スポーツ大会開催数	計画初期値	1大会	
			目標水準	2大会	
実施計画		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
	2大会				
実施状況		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
	2大会		2大会	3大会	
2016年度の具体的な取り組み内容	これまでに引き続き、全国車椅子バスケットボール大学選手権大会、関東パラ陸上大会が開催されたほか、ブラインドサッカーエキシビジョンマッチが初開催された。				

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(4) 顕彰制度、奨励制度等の活性化

番号	4-9		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	【重点施策】トップアスリートとの交流の活性化				
事業名	トップアスリートと市民のつながり創出事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「スポーツアワードまちだ」受賞者を中心とするトップアスリートの市内スポーツイベントへの積極的な出演を促進する。</li> <li>・小学生、働く世代、高齢者等、世代ごとのミニ「スポーツアワードまちだ」を開催する。</li> <li>・ホームページ、SNS、紙媒体などの積極的活用や新聞、テレビなどのマス媒体への積極的なPRを行うことで、トップアスリートとの交流機会の周知を強化し、市民の参加を促進する。</li> </ul>				
事業目標	指標	トップアスリートとの交流機会の回数		計画初期値	年1回
				目標水準	年3回
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度
	年1回	→		年2回	→
実施状況	企画		年2回	年3回	
2016年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2月11日に市内のアスリートのレベルアップを図るため、「まちだオリパラプロジェクト」としてスポーツ団体の関係者を対象にした講演会と、スポーツ団体代表者による座談会を開催した。</li> <li>・「第7回スポーツアワードまちだ」表彰式を開催し、過去最多となる78組の個人・団体からの応募があり、表彰式典を実施した。</li> <li>・図師小学校地域総合型スポーツクラブでは、プロチーム東京八王子トレインズから専属クリニックコーチを招き、バスケットボールスクールを開講した。体験会等のイベントも開催し、トップアスリートとの交流機会を増やしている。</li> </ul>				

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(4) 顕彰制度、奨励制度等の活性化

番号	4-10		実施主体	指定管理者 町田市体育協会	
推進施策	【重点施策】トップアスリートとの交流の活性化				
事業名	指定管理者によるトップアスリートとの交流イベント実施事業				
取り組み内容	競技団体やホームタウンチームと連携し、トップアスリートが出演、参加するイベントを実施する。				
事業目標	指標	事業の実施		計画初期値	—
				目標水準	実施
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度
	イベント実施				
実施状況	実施		実施	実施	
2016年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○総合体育館 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ASVペスカドーラ町田によるフットサルスクールやチアリーディングスクールを実施した。</li> <li>・「まちだ★こどもフェスタ」を開催し、「マッスルミュージカル」としてアスリートによるパフォーマンスを実施した。</li> <li>・「チャレンジマッスル2016」を開催し、ASVペスカドーラ町田、FC町田ゼルビア、日本ブラインドサッカー協会の特別ブースを設置した。また、「ダブルタッチ」パフォーマンスの観覧と体験も実施した。</li> </ul> </li> <li>○サン町田旭体育館 <ul style="list-style-type: none"> <li>・タッチラグビーやバトントワーリングのトップ選手によるスクールを実施した。</li> </ul> </li> <li>○小野路公園 <ul style="list-style-type: none"> <li>・FC町田ゼルビアが指導するアンチエイジングサッカー教室を実施した。</li> </ul> </li> <li>○野津田公園(陸上競技場) <ul style="list-style-type: none"> <li>・「全国統一かけっこチャレンジ2016」にて、50m、100mのタイムトライアルや現役のトップアスリートによるかけっこ教室を開催した。</li> </ul> </li> </ul>				

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり  
 (4) 顕彰制度、奨励制度等の活性化

番号	4-11		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	顕彰制度、奨励制度の充実					
事業名	表敬訪問事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なスポーツをする市民が広く表敬訪問を知り、訪問できるよう、今後の受け入れ方法・周知方法を検討する。</li> <li>・出場前であれば、表敬訪問により大会に向けて士気を高めることができ、また、その競技や大会の注目度を上げ広く市民から応援を得ることができるような表敬訪問のあり方を検討する。</li> <li>・出場後であれば、功績を称え今後の意欲につながるような表敬訪問のあり方を検討する。</li> </ul>					
事業目標	指標	表敬訪問実施数	計画初期値	25回		
			目標水準	35回		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	25回	→	30回	→	35回	
実施状況	17回	15回	23回	/		/
2016年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表敬訪問の受け入れ基準を設けることやそれを周知するための方法を検討した。</li> <li>・表敬訪問では、競技中の映像や競技で使用する道具等を持参いただくことで、これまで以上に競技の魅了等をアスリートの方から伝えていただけるよう工夫した。</li> <li>・オリンピック出場のアスリートについては、壮行会や報告会等の形で市民の方に大会の出場や結果の報告を行う機会を設けた。</li> </ul>					

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり  
 (4) 顕彰制度、奨励制度等の活性化

番号	4-12		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	顕彰制度、奨励制度の充実					
事業名	全国大会等出場者祝金支給事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・祝金支給要綱にもとづき、市民への祝金を支給する。</li> <li>・スポーツの多様化にともない、様々なスポーツの大会に出場する市民に広く支給できるよう、支給要綱を見直す。</li> <li>・より制度を広く市民に知ってもらうために、更なる周知方法を検討する。</li> </ul>					
事業目標	指標	祝金支給件数	計画初期値	85件		
			目標水準	150件		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	85件	120件	130件	140件	150件	
実施状況	90件	90件	90件	/		/
2016年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・祝金支給要綱にもとづき、市民への祝金を支給した。</li> <li>・また、2014年度の支給要綱改正にて新たに項目が加えられたオリンピック・パラリンピック出場者への支給を行った。</li> <li>・表敬訪問等の機会を利用し、申請可能性のある方への周知を行った。</li> </ul>					

施策5：スポーツのまちづくり  
 (1) スポーツ・ツーリズムの推進

番号	5-1		実施主体	一般社団法人町田市観光コンベンション協会 産業観光課	
推進施策	スポーツ・ツーリズムの連携促進				
事業名	スポーツ・ツーリズム実施事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームタウンチーム応援ツアーの企画</li> <li>旅行代理店へのPR</li> </ul>				
事業目標	指標	ツアー実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
		企画・実施			
実施状況	実施	実施	未実施		
2016年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>2014年度及び2015年度にホームタウンチーム応援ツアーを実施した際、採算面の課題があった。</li> <li>2016年度もホームタウンチーム応援ツアーの実施に向けて検討を行ったが、採算面の課題を解消することは難しく、実施を見送ることにした。</li> </ul>				

施策5：スポーツのまちづくり  
 (2) 公園等におけるスポーツ施設の充実

番号	5-2		実施主体	公園緑地課	
推進施策	【重点施策】野津田公園におけるスポーツ施設整備				
事業名	第二次野津田公園整備基本計画推進事業				
取り組み内容	第二次野津田公園整備基本計画に基づき、スポーツ施設の整備を進める。当面は、2020年東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地招致を目指し、既存の陸上競技場と併せて必要な人工芝の多目的グラウンドの整備と、施設稼働率が85%を超え、人気の高いテニスコートの整備を進める。				
事業目標	指標	野津田公園内におけるスポーツ施設整備箇所数	計画初期値	—	
			目標水準	2箇所	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
		用地測量	都市計画決定 用地買収	基本設計 実施設計	整備
実施状況	用地測量	用地取得交渉	用地取得交渉		
2016年度の具体的な取り組み内容	拡張区域の地権者と用地交渉を進め、都市計画決定に向けて、都市計画審議会の事前審議に付した。				

施策5：スポーツのまちづくり  
 (3) 広域スポーツのブランド化

番号	5-3		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	市民マラソン等の活性化				
事業名	武相マラソン大会支援事業				
取り組み内容	広報、ホームページ、その他メディア等を通じて、武相マラソン大会に関する情報発信・PRを強化する。				
事業目標	指標	参加者数	計画初期値	2,000人	
			目標水準	3,000人	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	2,500人	→	2,750人	→	3,000人
実施状況	1,700人	1,860人	1,840人		
2016年度の具体的な取り組み内容	広報やホームページを通じて、町田市全域に武相マラソン大会に関する情報発信を行ったほか、市の施設へ要項を配布した。				

施策5：スポーツのまちづくり  
 (4) 公共スポーツ施設のユニバーサルデザイン化

番号	5-4		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	ユニバーサルデザインの推進				
事業名	既存スポーツ施設のバリアフリー改修				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレ改修工事</li> <li>・サイン改修工事</li> <li>・障がい者の競技スポーツ大会開催のための施設整備</li> <li>・利用者の要望を取り入れた小規模なバリアフリー改修工事</li> </ul>				
事業目標	指標	改修工事実施施設数	計画初期値	—	
			目標水準	3施設	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	改修計画の検討、営繕課との調整	学校温水プール、木曽中管理事務所のサイン改修実施	営繕課の修繕計画に合わせてトイレ・サイン工事実施 小規模バリアフリー改修		
実施状況	検討・一部実施	検討	検討		
2016年度の具体的な取り組み内容	障がい者の競技スポーツ大会等の開催のため、総合体育館南側に大型バスを寄せられるスペースの整備を検討した。				

施策5：スポーツのまちづくり  
 (5) スポーツ情報発信力の強化

番号	5-5		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	【重点施策】総合的なスポーツ情報発信力の強化				
事業名	スポーツフォーラム活性化事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民がより参加しやすい形でのスポーツフォーラムの開催</li> <li>フォーラム内容のフォローアップをホームページで実施</li> </ul>				
事業目標	指標	スポーツフォーラムの見直し	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	→	見直し 実施		→
実施状況	検討	検討	実施	/	/
2016年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月20日に町田市のスポーツ推進計画の抱える課題、今後のスポーツを活用した地域創世、サポーターやボランティアの協力をテーマとし、元サッカー日本代表監督岡田武史氏を招いたパネルディスカッションを行った。</li> <li>2月11日に市内のアスリートのレベルアップを図るため、「まちだオリパラプロジェクト」としてスポーツ団体の関係者を対象にした講演会と、スポーツ団体代表者による座談会を開催した。</li> <li>2月11日に東京2020オリンピック・パラリンピック気運醸成事業として、「トライ・スポーツ！まちだ2017」を開催し、パラスポーツの体験やパラスポーツアスリートのトークショーを行った。</li> </ul>				

施策5：スポーツのまちづくり  
 (5) スポーツ情報発信力の強化

番号	5-6		実施主体	生涯学習センター	
推進施策	【重点施策】総合的なスポーツ情報発信力の強化				
事業名	生涯学習ポータルサイト構築事業				
取り組み内容	講座・講演会情報、活動団体情報、人材情報などの様々な学習情報を手軽に入手できるホームページ(生涯学習ポータルサイト)を構築する。				
事業目標	指標	生涯学習ポータルサイトの構築	計画初期値	—	
			目標水準	構築・稼動(2015年度)	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	運用ルール の 検討	ポータルサイト の構築・稼 動	運用	検証	運用改善 実施
実施状況	検討	投稿型アプリ の 調査・研究	検討	/	/
2016年度の具体的な取り組み内容	市役所内の各部署と調整をしながら、より多くの情報を取り扱うポータルサイトやアプリへの生涯学習情報の掲載を検討した。				

施策5：スポーツのまちづくり  
 (5) スポーツ情報発信力の強化

番号	5-7		実施主体	生涯学習センター	
推進施策	【重点施策】総合的なスポーツ情報発信力の強化				
事業名	生涯学習NAVI				
取り組み内容	市内もしくは近隣地域で開催され、市民が参加できる講座・講演会、イベントなどの情報や、市内各地で行われている学習活動の様子などを紹介する情報誌「生涯学習NAVI」を発行する。				
事業目標	指標	生涯学習NAVIの配布施設数	計画初期値	65施設	
			目標水準	100施設	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	65施設			→	100施設
実施状況	96施設	97施設	97施設		
2016年度の具体的な取り組み内容	生涯学習NAVIを各地域に効果的かつ効率的に配布するため、施設毎の配布数を見直した。				

施策5：スポーツのまちづくり  
 (5) スポーツ情報発信力の強化

番号	5-8		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	【重点施策】総合的なスポーツ情報発信力の強化				
事業名	スポーツ情報発信・広報支援事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームタウンチーム・アスリートの活動情報を町田市ホームページや広報まちだ、市政情報モニター「まちビジョン」、シティセールス(CS)コーナーに掲載する。</li> <li>・ホームタウンチームの広報誌やPRポスターを市内各施設・小中学校、掲示板に配布・掲示する。</li> <li>・情報誌「スポまち キッズ！」をSportsまちだホームタウン協議会と協働し、作成・発行する。</li> <li>・総合体育館情報コーナーの有効活用及び他スポーツ施設の情報コーナーの整備を行う。</li> </ul>				
事業目標	指標	ホームページでのアスリート情報発信件数	計画初期値	134件	
			目標水準	190件	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	150件	160件	170件	180件	190件
実施状況	128件	35件	20件		
2016年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページのアクセス数を検証し、発信する情報を内容を精査することで、より効果的な情報発信方法を検討した。</li> <li>・リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック開催時には、市庁舎への横断幕等の掲示、庁内放送を活用し、町田市出身アスリート情報を周知した。</li> <li>・フェイスブックやツイッターを活用した情報発信について検討を行った。</li> </ul> <p>[ホームページでのアスリート情報発信数]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページでのアスリート活動情報の掲載：20回</li> <li>・ペDESTリアンデッキ電光掲示板へのスポーツ情報の掲載：46回</li> <li>・まちビジョンへの掲載：13回</li> <li>・「スポまち キッズ！」の発行：年1回</li> <li>・ホームタウンチームのポスター・チラシの配布：各公共施設・小中学校13回、町内会自治会：6回</li> </ul>				